

第1回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会 議事要旨

1 検討会名称

第1回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会

2 開催日時

令和5年8月4日（金） 午前10時15分～11時45分

3 開催場所

広島サンプラザ3階 銀星の間
(広島市西区商工センター三丁目1-1)

4 出席者

(1) 委員（委員9名中9名出席）

(2) 事務局

都市整備局 都市機能調整部商工センター地区活性化担当 担当部長、担当課長、ほか関係職員

5 議題

(1) 座長の選出

(2) 商工センター地区の現況について

(3) 地元からの提案内容について

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴人の人数

一般傍聴者4名

8 検討会資料名

次第

商工センター地区まちづくりビジョン検討会委員名簿

商工センター地区まちづくりビジョン検討会開催要綱

商工センター地区まちづくりビジョン検討会の公開に関する取扱要領

資料 1 商工センター地区の現況

資料 2 商工センター地区街づくり提案

参考資料1 提案までの検討経緯

参考資料2 商工センター地区まちづくりビジョン検討会の進め方

9 各出席者の発言の要旨

事務局

議題(1)の座長の選出について、商工センター地区まちづくりビジョン検討会開催要綱の規定により、座長は委員の互選によって定めることになっている。

どなたか座長の御推薦等はあるか。

奥野委員

地域政策や観光政策に精通され、長年商工センター地区のまちづくりに関わってこられている安田女子大学の戸田（常）委員にお願いしたい。

事務局

戸田（常）委員を座長にという推薦があったかどうか。

（異議なし）

事務局

それでは、戸田（常）委員に座長をお願いする。戸田座長に一言お願いしたい。

戸田（常）座長

謹んでお受けさせていただく。

検討会の座長を務めるに当たり、留意したいことを述べさせていただく。

ビジョンと言えば遠い将来の姿を思い浮かべることもあるかと思うが、今回の検討にあたってのビジョンは、実行可能性、実現可能性に裏打ちされたビジョンを検討したいと考える。

10年近く前から地元の方々と一緒に検討し、本日紹介いただく街づくり提案にも関わってきた中で、考えなければいけないのは実行性、実現性ということで、次の2点に留意したいと思う。

1点目は、関係の皆様の主體的な参加と、互いの連携・協力が必要ということ。これから策定するビジョンは、この地区に多くの方々が住まれ、多くの方々が来られるビジネス・観光の場としても展開していくものになるのではないかと考えており、地元の方々の暮らしとビジネス・観光との調整、また、ビジネス相互の調整も重要である。

2点目は、選択と集中である。今やるべきことは今やり、将来やらなければならないことは、その準備を今からでも行っておくべきで、いつ行うのかを考えながら、まさに行動計画に裏打ちされたビジョンを策定したいと思っている。

委員の皆様のご積極的な御発言により実りあるビジョンを策定したいと思っているので、御協力のほどよろしくお願いしたい。

事務局

それでは、ここからは戸田座長に議事の進行をお願いしたい。

戸田（常）座長

議題(2)の商工センター地区の現況について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（資料1に沿って説明）

戸田（常）座長

それでは、資料1について御質問、御意見をいただきたい。

戸田（祐）委員

8ページの地区内の従業者数、事業所数推移の中で、平成24年の従業者数が突出している理由は何か。

事務局

平成18年の「事業所・企業統計調査」から平成24年の「経済センサス活動調査」の間に調査方法が変わっている。具体的には、現地で調査員が把握するという方法から、行政関係の資料をベースに本社で一括調査する方法に変更された。このため、支所等を一括で把握することができるようになり、捕捉範囲が拡大したことで従業者数も増加する傾向にあったと思われるが、その後の減少傾向については把握できていない。

戸田（常）座長

現況や実態から、どのような課題・問題が見られるか、また、どのように認識しているか概略を説明してほしい。

事務局

当該地区は流通業務市街地の整備に関する法律（流市法）の関係で、建物の用途や立地の規制がかなりのエリアにかかっており、現況もそういう活用がなされている中で、地区の北側には住宅地が立地している。こういった場所へのにぎわいを検討する上で、人とビジネス、にぎわいとビジネスといったところをいかに融合させていくのか、分離させていくのかというところが課題になろうかと考えている。

西本委員

委員の中で私のみが広島県外からの参加となる。2日間ほど視察させていただいたが、改めて広島市が美しく整備された街であり、かつ、様々な歴史に基づいた個性と世界的な知名度のあるところという印象を受けた。

商工センター地区は、埋立開始から52年経過しており、あちらこちらで老朽化が進んでいるが、このビジョンの検討に当たっては、この商工センター地区のみならず広島にどのような個性を与えることができるかという観点で皆様と一緒に考えていきたい。

戸田（常）座長

地区の中だけでなく、広域的に、広島都市圏全体ということで、ここを良くすることが全体につながるということ。

それでは、議題(3)の地元からの提案内容についてに移る。提案内容の説明の前に事務局から提案までの検討経緯の説明をお願いします。

事務局

(参考資料1に沿って説明)

戸田（常）座長

事務局の説明に対して御質問があればいただきたい。

西本委員

これまで様々な検討がされてきているが、広島市全体においてのMICEのあり方、その課題についてはどういったことがあるか。

事務局

MICEの開催は高い経済効果、ビジネスの機会、イノベーションの創出、都市間競争力やブランド力の向上などにつながることから、観光振興の柱のひとつとして考えている。また、観光コンベンションビューローと連携しながら国際会議の誘致等を行っている。

特に国際会議の誘致に当たっては、本市の持つ強みや資源を活かすことが重要であると考えており、他都市にはない世界的な知名度のある平和の分野や本市内にある広島大学医学部などの研究機関と国際会議の実績のある医学会を中心に、積極的な誘致活動を展開している。

国際会議を開催するに当たって、展示との連携も必要であるが、広島国際会議場は展示機能が少し不足しているというところもあるため、本市全体でどのように誘致をしていくかということを検討しているところである。

西本委員

つまり、広島市におけるMICE誘致の課題は、大きな展示場を兼ね備えたMICE施設が不足しているために、大型のMICEを誘致することがなかなか難しいということか。

事務局

「大型」という規模感も国際会議では色々な規模のものがあるので、どういった規模が良いのか検討する必要があると考えている。

また、国際会議等がコロナを経てどのようになっていくのかということも考える必要があるほか、大規模な会議も数が限られていることもあるため、どのように都市間競争に勝っていくのかを検討しなくてはならないという認識を持っている。

戸田（常）座長

大事な論点を提示いただいた。次回以降、しっかり検討したい。

それでは、提案内容の説明に移りたい。

開催要綱第5条第3項により、検討会は必要に応じて関係者の出席を求めることができるとしており、広島商工センター地域経済サミット事務局に提案内容の説明をお願いしたいと思うがいかがか。

（異議なし）

戸田（常）座長

それでは、議題(3)の地元からの提案内容について、広島商工センター地域経済サミット事務局に説明をお願いします。

広島商工センター地域経済サミット事務局

（資料2に沿って説明）

伊藤委員

私共広島商工センター地域経済サミットで考えた今回の提案については、人、物、情報があふれる街にしたいという思いから、このような提案となっている。

さらに、商工センター地区は物流の一大拠点であり、人の流れと物の流れが混在一体となるということは避けたいという思いがあったため、人は2階を歩く、物は道路を走るところを主眼としてこの街づくり提案に至っている。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

西本委員

民間主導でこれだけきちんとした提案を示されるということは、なかなか他の自治体・都市では見られない、広島ならではのすばらしい取組だと思う。

私自身はMICEが専門ということで、MICE施設に関する現時点での考えを伺っていきたい。展示施設としては何㎡程度を想定し、どこに建てる想定をされているか。

広島商工センター地域経済サミット事務局

広さについては、細かく詰めてはいないが、主な会場、一番広い展示場で6,000㎡程度をイメージしており、場所については、現在の広島サンプラザの辺りを想定している。

西本委員

昨日、サンプラザの利用状況を教えていただいたが、夏もかなり暑くなっているため、地元の運動会など運動を屋内で行う需要が多くなっているようである。そういったMICEとは違う地域のコミュ

ニティや地域活動などに活用することも念頭に置かれているか。

広島商工センター地域経済サミット事務局

この施設の中ではアリーナになると思うが、アリーナの使い方も詳細までは検討していない。ただ、今でも広い屋内スペースが必要ということであればサンプラザの利用が一般的だと思うので、地元の色々なスポーツ活動に活かせるような形にすること、地元にもメリットがあるものにするということが重要だと思う。

西本委員

M I C E施設をつくるうえで、地元コミュニティとの共生はとても重要なテーマになってきている。

全国各地の国際会議場の使われ方も徐々に変化しているところがある。例えば、名古屋の国際会議場では、地元の夏祭りの一部は熱中症対策から屋内で実施するという使い方も出てきており、そういった面でも施設を拡充することは、外から来るM I C E参加者のみならず、地元の住民にもメリットが高いと考えられる。

もう一点、草津漁港の整備について、具体的な内容が決まってくるのはいつ頃か。

事務局

草津漁港の観光港化やにぎわいを創出するためのテラスなどを御提案いただいているところであり、今後この検討会の中で意見交換させていただければと思っている。

漁港の一部を活用したにぎわいについては、中央市場の再整備の中で検討することとなっており、現在、事業者を選定しているところであると思うが、今後、相互に連携を図っていく必要があると考えている。

戸田（常）座長

先ほど、地域コミュニティとの関係が非常に大切だとあったが、湯蓋委員、何か御発言いただけたらと。

湯蓋委員

資料1の7ページにある地区内の人口推移について、民間企業が所有している大きな土地が売却されてマンションが建つことや、企業の社宅が廃止されて大きな未利用地となっているような現状があるが、土地の活用について地元住民が知らない間に進むことがあり、企業の思いを地元としては知りたいと考えている。また、井口の北側から、井口明神学区に転居される方も見られるなど、今後は人口増加も想定される。

地元としてはサンプラザ前の東西方向の緑道を整備してほしいといった要望もしており、M I C E施設の整備だけでなく周辺の整備も含めて考えることも必要ではないかと思う。

南浦委員

地元から緑道の整備等の要望を受けており、その対応について関係課と調整中である。

事務局

先ほど湯蓋委員から発言のあった人口の増減について、平成27年から令和2年にかけて人口が下がっている要因は、大型の社宅等が時期を同じくして解体若しくは退去が重なったことであると想定している。その後、新しくマンションが建てられて人口は概ね横ばいになったと捉えているが、一部については退去したままの建物等もあるので、そういったところについては、事務局から所有企業に今後の活用予定について確認してみる。

南浦委員

提案内容が実現することは西区にとってもありがたい話である。

今回の提案の中で、流通業務地区の規制緩和により土地利用転換を図りたいということについては、都市計画法などの面から難しいと考えるが、過去にどういった理由、方法で規制緩和を行ったのか、また、今回も可能なのか。

事務局

流市法のこれまでの経緯と今後の展望について、過去の経緯から説明すると、平成13年に流通業務団地の範囲を変更している。この理由は、流通業務団地の広さや機能が団地を整備した当初と比べ、それほど必要ないのではないかと整理をして団地を外したと認識している。

今回の提案では、当該エリアの流通業務地区の解除が提案されているが、全国的にもなかなか例がないため、すぐ対応できるかどうかこの場で軽々に回答することは難しいが、できる限りどういったことができるのかを考えながら、提案内容に沿ったものにしていきたいと考えている。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

秋田委員

資料2の7ページのアクティビティセンターの提案について、公民連携事業を企画運営する場と記載されているが、これはそこに運営企画するスタッフを配置するということも想定しているのか。

広島商工センター地域経済サミット事務局

現在、中小企業会館があるということと、地域のビジネスの発展に共同で取り組むというイメージであり、スタッフを置くかどうかなどの具体的な検討はしていない。

戸田（常）座長

ほかに御質問等はないか。

戸田（祐）委員

基本的に車は地上を移動し、一方で人は2階レベルで移動する提案になっている。来街者は新井口駅

が入口になると考えられ、バリアフリーを含めて整備できていないところはきちんとやっていくということは良いと思う。その中で、現在の駅は、駅前広場がない状況となっており、乗り継ぎが難しくなっている。資料2の3ページの配置計画案の中では、エントランスパークということで、交通広場の提案をいただいている。ペDESTリアンデッキがあるので、これを活用すれば、少し離れているが、駅前広場のような機能も果たすことができる。公園をどうするか課題はあるが、これは一つの方策としてあるのではないかと考える。

その一方で、アルパークにはバスターミナルがある。資料の赤い線のルートについてはバスになるのか。

広島商工センター地域経済サミット事務局

想定しているのは循環バスである。

戸田（祐）委員

循環バスということであれば、新井口駅や草津漁港との連携も視野に入れたルート設定をすると良いと思う。

ペDESTリアンデッキの延伸については、新井口駅から草津漁港まで歩くには距離があり、夏や冬に歩いてもらうには歩いてもらうだけの沿道の利用や魅力的なものが necessary になるのではないかとと思うので、特にサンプラザから草津漁港に向けては何か歩いてもらう工夫を考える必要がある。

年齢的な多様性ということで、子供から高齢者までの来街者が想定される。ペDESTリアンデッキだけにするのではなく、高齢者にはバスを使うとか、色々なモードを活用してはどうか。提案の中では、シェアサイクル、電動キックボードなどがあつたが、そういったものをうまく活用して新たなまちづくりの中で移動というものを売りにできるまちづくりに踏み込んでいけたらいいのではないかとと思う。

戸田（常）座長

ほかに、何か御発言等はないか。

奥野委員

とてもすばらしい提案をいただいていると思う。

草津漁港周辺が利用されるのであれば、循環バスなどはルートに加えるようにしたら一般の方が利用しやすいと考える。

西野委員

私は、提案の検討をとりまとめる役割と、都市計画や公園・緑地の所管としての立場がある。

素晴らしい提案を頂いている中で、所管として、流市法の取扱いや規制緩和、公園・緑地を今後どうするかなど、今後検討会での議論が進む中で、しっかりとその思いに答えられるように、検討していきたい。

西本委員

広島市全体でのMICE施設を考える上で、既に市内の様々な集客施設があると思うが、これを一度整理し、どの地区にどれくらいの規模のものがあるかというのが分かる資料を次回の検討会で示していただくと良いと思う。

戸田（常）座長

事務局には次回までに資料の用意をお願いします。

それでは、時間も迫ってきたので最後に事務局から今後の進め方の説明をお願いします。

事務局

（参考資料2に沿って説明）

戸田（常）座長

市場の検討等の関係はどうなっているか。

事務局

現在、市場の建替について、事業者の選定段階である。事業者選定の決定後、提案の内容について、第2回検討会にて説明させていただく予定で考えている。

戸田（常）座長

よろしくをお願いします。それでは、ほかに御質問等はないか。

湯蓋委員

地域の循環バスについて、商工センター内ではバスが走っているが、乗降客が少ないという理由で廃止ではなく停止の手続きをとっているため、復活できなくはないと思う。

地元の立場として、アルパークも含めて、災害発生時に地域の公園が避難場所となっている。今までは多くの人数を想定していなかったが、大勢の人が集まってくることを考えると、地元の立場としては新たな避難場所についても検討が必要だと考える。

戸田（常）座長

バスの検討と避難場所について検討課題に入れること。ほかに御質問等なければ検討会の進め方について確認したということにする。

終了予定の時間が迫っているので、この辺りで閉会する。

事務局

大変貴重な意見をいただき感謝する。冒頭での座長の挨拶にもあったように、実効性の高いビジョンにすべく事務局としても取り組む所存である。

次の会議に向けて、具体的な資料作成や提案ごとの課題整理に活かしていきたいと考えている。

次回の検討会は、提案内容ごとの課題整理等について御意見を伺いたいと考えており、日程について

は、別途事務局で調整させていただく。

戸田（常）座長

それでは、第1回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を閉会する。
ありがとうございました。